

放射性汚泥を調査

市民団体 土岐、瑞浪の山林で

酸化チタンの製造過程で出た放射性物質を含む汚泥が土岐市や瑞浪市の山林に野積みされていることが分かり、市民グループのメンバーらが5日、現地を調査した。

調査をしたのは、「放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜」代表の兼松秀代さんら市民グループと両市の市議、愛知県瀬戸市の市議加藤徳太郎さんら十数人。瀬戸市でも山積みされているのが見つかり、加藤さんらが愛知県などに対策を要請しているという。

兼松さんによると、汚泥は「フェロシルト」という物質。90年代初めごろ、国内の酸化チタンメーカーが排出した廃棄物の汚泥などから放射線が検出され、問題化した。が、科学技術庁、通産省など4省庁が合同でメーカーなどに新基準を盛り込んだ通達を出したうえで、「工場や処分場内などで1年間に浴びる放射線の線量が1ミシーベルト以下なので、安全上問題がない」とする事実上の安全宣言をした経緯がある。

この日確認した野積み場所は、土岐市泉町定林寺の国道21号わきの斜面と瑞浪市稲津町小里の民家に隣接した斜面の2カ所。どちらも覆土されていたが、雨で流された赤い汚泥も確認された。市民グループによると、瑞浪の現場では、自然界を上回る放射線が検出され、国の規制値を超える所もあるという。

市民グループは調査結果をまとめ、7日にも東京に出かけ、管轄省庁に対し、放射性汚泥物質の扱いの改善と排出業者の指導を徹底するよう要請する予定だ。

放射性物質含む埋め戻し材 瑞浪の埋設現場調査

市民団体

微量の放射性物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」による環境や人体への影響を危惧する名古屋市の市民グループが5日、瑞浪市稲津町の埋設現場を調査した。同市のこれまでの測定によると放射線量は国の基準値以下だが、グループ関係者は、環境に与える影響は少なくないとして現地の埋設状況などを調べた。

フェロシルトは、酸化チタンの製造過程で出る汚泥をリサイクルした製品で、土地造成で土砂を取り出した場所を埋め戻すための埋設材料として使われている。製品工場がある三重県では、県認定のリサイクル推奨品になっている。

グループ関係者によると瑞浪市では三年前から同市稲津町の造成現場で土砂の搬入などが行われ、その中にフェロシルト約千トが埋められたという。愛知県瀬戸市や土岐市でも野積みや埋設されているという。

同日の調査には土岐市や瑞浪市、瀬戸市の市議らも加わり、瑞浪市と土岐市の二カ所で土壌や埋め立ての経緯などを確認。調査に参加した瀬戸市の市議は「今後は環境

2005年(平成17年)2月6日

岐阜

第11版

社会

11版 (26)

フェロシルト野積み現場視察 瑞浪の市議ら

瑞浪市稲津町の私有地に放射性物質を含むリサイクル土「フェロシルト」が野積みされているとして、この問題に関心をもち土岐市、瑞浪市の市議会議員や市民団体メンバー二十人が5日、現地を視察した。

フェロシルトは、白色顔料として使われる酸化チタンを作る時に生じた廃液を再利用したもので、三重県四日市市の化学メーカーが開発し、埋め立て用の土として販売。三重県がリサイクル推奨品として認定している。酸化チタンの原料に放射性物質が含まれているため、国の基準値以下ではあるが、フェロシルトも

埋め立て用リサイクル土

放射線物質を含んでおり、環境への影響を心配する声もある。

瑞浪市稲津町の現場で、この日は、瑞浪市の現場と見られる土が野積みされている。参加者は「放射性物質を含み、環境に悪影響を及ぼす心配がある」としてフェロシルトを、早急に対策をとる必要がある」と話していた。

「放射性物質含み 環境に影響心配」

瑞浪市稲津町の現場で、この日は、瑞浪市の現場と見られる土が野積みされている。参加者は「放射性物質を含み、環境に悪影響を及ぼす心配がある」としてフェロシルトを、早急に対策をとる必要がある」と話していた。

（小西 数紀）

十日 2005年(平成17年)2月6日(日曜日)

【東濃A】 (18)